大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2023年 第38週（9月18日～9月24日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　やや増加」

第38週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,860例であり、前週比17.2%減であった。定点あたり報告数の第１位は咽頭結膜熱で以下、感染性胃腸炎、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.55、2.48、1.98、0.65、0.46である。

咽頭結膜熱は前週比13%減の695例で、中河内・堺市4.32、北河内4.24、南河内4.19、大阪市西部3.50であった。アデノウイルス３型が、他の型と比較して、多く検出されている。

感染性胃腸炎は12%減の486例で、南河内3.50、大阪市南部3.28、中河内3.05であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は28%減の389例で、大阪市南部3.17、南河内2.63、中河内2.58である。

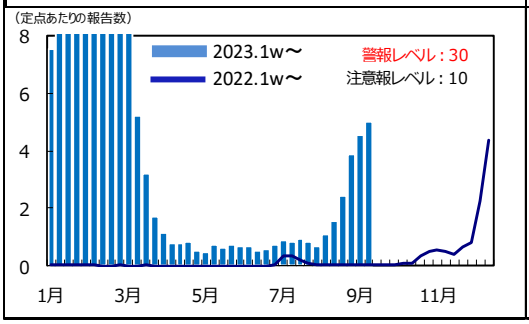
流行性角結膜炎は32%減の34例で、南河内1.75、中河内1.40、大阪市北部1.20であった。

手足口病は26%増の91例で、大阪市西部1.90、大阪市北部1.36、中河内0.68である。

インフルエンザは11%増の1,534例で、定点あたり報告数は5.03であった。大阪市西部10.67、泉州8.62、大阪市北部8.00、南河内4.50、豊能4.35である。

新型コロナウイルス感染症は32%減の2,677例で、定点あたり報告数は8.78であった。泉州10.94、堺市10.69、南河内9.92、北河内9.90、大阪市西部9.20である。年齢別では、70歳から79歳は前週からほぼ横ばいであったが、その他の年齢層では減少していた。

インフルエンザ



咽頭結膜熱

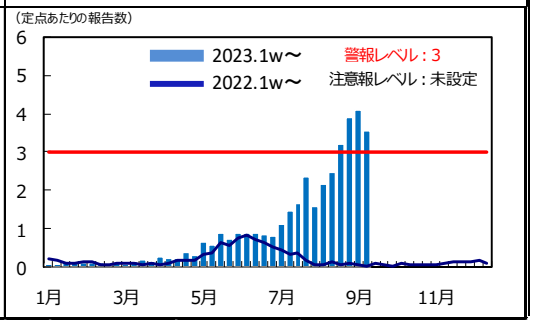


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2023年 第38週9月18日～9月24日）

第38週の順位	第37週の順位	感染症	2023年第38週の定点あたり報告数	前週比増減	2022年第38週の定点あたり報告数	2023年第38週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	咽頭結膜熱	3.55	13%減	0.05	３歳_19%
2	2	感染性胃腸炎	2.48	12%減	1.73	１歳_16%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.98	28%減	0.33	６歳_14%
4	4	流行性角結膜炎	0.65	32%減	0.06	20歳以上_65%
5	6	手足口病	0.46	26%増	1.89	１歳_41%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	5.03	11%増	0.03	20歳以上_27%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	8.78	32%減	-	10-19歳_22%

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザは、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

第38週のコメント

～レジオネラ症～　2022年の報告数は110例でした。

全数把握感染症

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラ　（Legionella pneumophila）を代表とするレジオネラ属菌による細菌感染症である。土壌や水環境に、普遍的に存在する菌である。人工環境（噴水等の水景施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等）や循環水を利用した風呂から発生したレジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入することで感染する。病型として肺炎型と一過性で自然に改善するポンティアック熱型がある。ヒトーヒト感染はない。健常者も罹患するが、細胞性免疫機能が低下している、乳幼児、高齢者など、喫煙者、大酒家は重篤化する可能性が高い。

レジオネラ症（大阪府感染症情報センター）
レジオネラ症とは(国立感染症研究所)

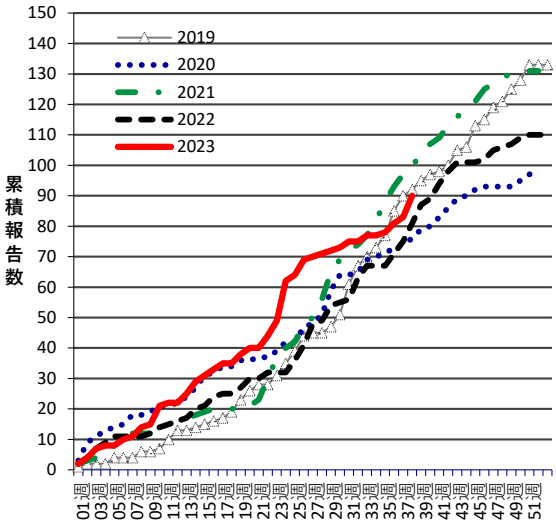


表２．大阪府全数報告数（2023年 第38週9月18日～9月24日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**4**					1			3	151
４類感染症	**レジオネラ症（肺炎型）**	**4**	1	3							90
	レジオネラ症（ポンティアック熱型）	**3**		2						1	
	レプトスピラ症	**1**								1	2
５類感染症	**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**	**4**		1			1			2	109
	侵襲性髄膜炎菌感染症	**1**							1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症	**1**	1								98
	水痘（入院例）	**1**								1	20
	梅毒	**12**		1		1				10	1,489
	風しん	**1**								1	2
結核 （2023年7月分）	**結核　新登録患者数：81名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　27名） （府内累積報告数　658名、内　肺・喀痰塗抹陽性　230名）										

（2023年9月26日　集計分）